

一般質問

安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて



大豆生田 春美 議員



災害時におけるクライシスマネジメントについて



北原 裕子 議員



**質問**…リスクマネジメント、平素からの予防と対策について伺います。

**答弁**…大田原市地域防災計画は、水害・台風、竜巻等風害対策編、震災対策編、火災災害対策編、原子力災害対策編、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進計画編と、それぞれのリスクを想定し、各種対策を計画しています。市民の防災意識を

高めるため、防災知識の普及啓発を行い、ハザードマップの配布、ホームページ、SNS、防災行政無線システムなどを活用した防災情報の発信、防災講演会や講習会、出前講座の開催など、多様な手法で防災意識の向上を図っています。

**質問**…クライシスマネジメント、緊急時の意思決定要領について伺います。

**答弁**…危機管理マニュアルの策定、連絡系統、避難場所、担当者の権限の明確化を行うことが重要です。緊急時に機能する組織体制や安否確認システムを整備するとともに、避難訓練やBCPに基づく実践的な訓練を行うことも求められます。人命救助と安全確認を最優先した協力体制の下、被害状況を迅速に把握します。

**質問**…電子母子手帳アプリの導入について、市の考えを伺います。

**答弁**…現在国では、電子版母子健康手帳を原則とすることを目指して、電子版母子健康手帳に関するガイドラインを令和7年度中に発出し、令和8年度以降の普及につなげる方針を示していますので、市としては、国のガイドラインや情報連携基盤の

整備状況を注視しながら、電子母子手帳アプリの導入に向けて検討していきます。

**質問**…産後ケア事業について、利用申請や利用決定通知など、オンライン化できないか伺います。  
**答弁**…オンライン申請については、産後ケア事業実施要綱を改正し、本日（令和8年2月27日）より国の「びったりサービス」

を活用したオンラインによる申請が可能になっています。現在、「びったりサービス」は申請のみ行えるシステムとなっておりますが、今後は利用決定通知についても、オンラインで通知が可能になるよう整備を進めていきたいと考えています。